

久慈市埋藏文化財調査報告書 第20集

# 久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅶ

1996. 3

岩手県久慈市教育委員会

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第20集

# 久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅶ

1996. 3

岩手県久慈市教育委員会

## 序

久慈市には多くの埋蔵文化財が分布しています。埋蔵文化財は、郷土の歴史を知るうえで貴重な文化遺産であり、それらを正しく理解し、保護・活用を図り、後世に伝えていかなければなりません。

近年、各種開発事業に伴い、埋蔵文化財の発掘調査件数が増加しています。開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るためには、遺跡の分布状況や内容等を把握する必要があります。そのため、教育委員会では平成元年度から国庫補助金及び県費補助金の交付を受けて、市内遺跡詳細分布調査事業を実施しており、平成7年度は夏井町地区を対象として調査を実施いたしました。

本書はその成果をまとめたものであり、今後、埋蔵文化財保護を進めるうえでの資料となるものであり、その一助となれば幸いです。

調査の実施にあたっては、文化庁・岩手県教育委員会文化課をはじめ、関係各位の御指導、御協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

平成8年3月

久慈市教育委員会

教育長 長内俊雄

## 例 言

- 1 本書は、平成7年度文化財保護事業として国庫及び県費補助金の交付を受けて久慈市教育委員会が実施した。

市内遺跡詳細分布調査の報告書である。

- 2 調査は久慈市教育委員会が主体となり実施した。

- 3 調査体制は次のとおりである。

事務局体制	社会教育課長	岩泉	敏明		
	郷土文化係長	末崎	順一		
	文化財調査員	千葉	啓蔵		
調査体制	調査員	千葉	啓蔵		
	屋外作業員	田中	和子	畑中	勝子
	屋内作業員	田中	和子	畑中	勝子

- 4 石質鑑定は新田康夫氏に依頼した。
- 5 本書の編集、原稿執筆、図版作成、写真撮影等は千葉が担当した。
- 6 調査に関する資料は久慈市教育委員会が一括して保管している。

# 目 次

序

例 言

第 I 章 分布調査の概要・・・・・・・・・・ 1

第 II 章 調査結果・・・・・・・・・・ 3

1 宇津目・鳥谷・国丹地区・・・・・・・・ 3

2 黒沼・早坂地区・・・・・・・・ 10

3 夏井・蕪田地区・・・・・・・・ 13

4 葡萄峰・小田地区・・・・・・・・ 17

5 国坂・切屋田地区・・・・・・・・ 20

6 門ノ沢・大芦・富原地区・・・・・・・・ 31

7 川代地区・・・・・・・・ 39

8 中崎地区・・・・・・・・ 42

9 まとめ・・・・・・・・ 45

## 図版目次

第1図	分布調査対象範囲図	2
第2図	宇津目・鳥谷・国丹地区遺跡分布図	4
第3図	鳥谷・国丹地区採集遺物	5
第4図	鳥谷館跡平面略図	6
第5図	黒沼・早坂地区遺跡分布図	10
第6図	館の平館跡平面略図	11
第7図	夏井地区採集遺物	13
第8図	夏井・蕨田地区遺跡分布図	14
第9図	夏井城跡平面略図	15
第10図	葡萄峰・小田地区採集遺物	17
第11図	葡萄峰・小田地区遺跡分布図	18
第12図	国坂・切屋田地区遺跡分布図	21
第13図	国坂・切屋田地区採集遺物(1)	22
第14図	国坂・切屋田地区採集遺物(2)	23
第15図	国坂・切屋田地区採集遺物(3)	24
第16図	国坂・切屋田地区採集遺物(4)	25
第17図	国坂・切屋田地区採集遺物(5)	26
第18図	国坂・切屋田地区採集遺物(6)	27
第19図	門ノ沢・大芦・富原地区遺跡分布図	32
第20図	大芦地区採集遺物(1)	33
第21図	大芦地区採集遺物(2)	34
第22図	大芦遺跡発掘調査出土遺物	35
第23図	川代地区採集遺物	39
第24図	川代地区遺跡分布図	40
第25図	中崎地区採集遺物	42
第26図	中崎地区遺跡分布図	43

## 写真図版目次

第1図版	鳥谷館跡航空写真	6
第2図版	宇津目・鳥谷・国丹地区遺跡	7
第3図版	宇津目・鳥谷・国丹地区採集遺物	8
第4図版	鳥谷地区採集遺物	9
第5図版	館の平館跡航空写真	11
第6図版	黒沼・早坂地区遺跡	12
第7図版	夏井城跡航空写真	15
第8図版	夏井・蕨田地区遺跡、採集遺物	16
第9図版	葡萄峰・小田地区遺跡、採集遺物	19
第10図版	国坂・切屋田地区遺跡	28
第11図版	国坂・切屋田地区採集遺物(1)	29
第12図版	国坂・切屋田地区採集遺物(2)	30
第13図版	門ノ沢・大芦・富原地区遺跡	36
第14図版	富原地区遺跡、大芦地区採集遺物(1)	37
第15図版	大芦地区採集遺物(2)	38
第16図版	川代地区遺跡、採集遺物	41
第17図版	中崎地区遺跡、採集遺物	44

## 第 I 章 分布調査の概要

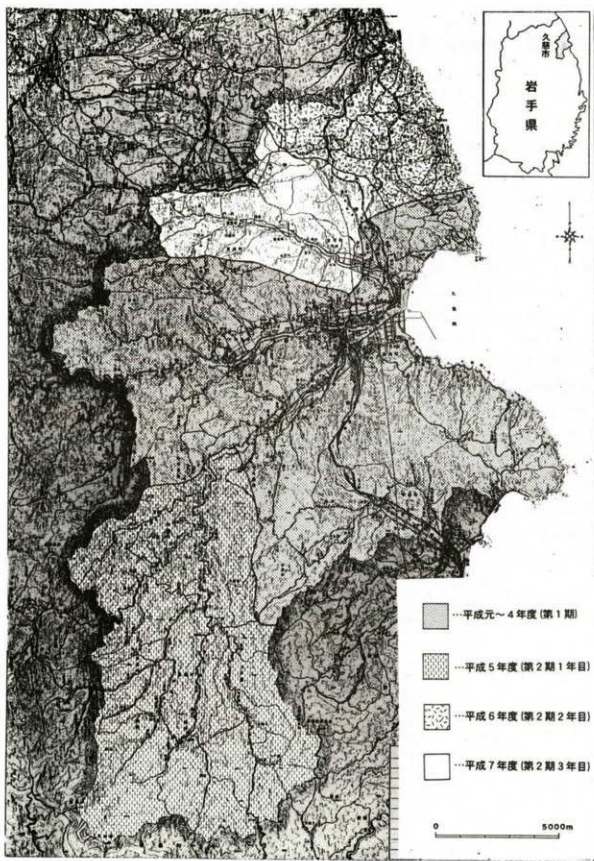
岩手県久慈市は北上山地北東部に位置し、経緯度は、東経 141度38分～ 141度52分、北緯40度00分～40度17分である。広さは、東西21.10km、南北33.25km、面積は327.22km<sup>2</sup>である。九戸郡種市町・大野村・山形村・野田村及び下閉伊郡岩泉町に接し、東は太平洋に面する。久慈湾に注ぐ久慈川、長内川、夏井川流域、野田湾に注ぐ宇部川流域に主な集落が形成され、市域の約88%が山林原野である。気候は夏は涼しく、冬は温暖である。

久慈市内において、現在約380箇所の遺跡の所在が確認されている。主に、畑地などに利用されている箇所において遺跡の所在が確認されているが、山林地が大半を占めているため、未確認の遺跡がまだ多く存在するものと予想される。

近年、当市においても各種開発が急増しており、それらに伴う発掘調査件数も増加している。これらの各種開発と埋蔵文化財保護との調整に資するため、遺跡台帳を整備し、遺跡の保護を図ることを目的とし、当教育委員会では、第1期4年次、第2期3年次計画で国庫補助金及び県費補助金の交付を受け、市内遺跡詳細分布調査を実施している。第1期は平成元年度から平成4年度までの4年次で実施した。平成7年度は第2期3年次計画の3年目にあたり、夏井町地区を対象として分布調査を実施した(第1図)。

今年度は踏査による分布調査を実施し、その結果、対象地区において、周知の遺跡22箇所に加え、新たに9箇所の遺跡が発見された。遺跡台帳に登録されている箇所でも、現在、旧耕地あるいは植林されているため、遺物の採集が不可能な遺跡もあった。前述したように、山林地においては遺物の採集が不可能であるため、遺跡の所在が確認できない箇所もあることから、対象地区における遺跡数はさらに増加するものと予想される。なお、これまで埋蔵文化財包蔵地として知られていたにもかかわらず、遺跡台帳に未登録であった遺跡については、新規登録として取り扱うこととした。

調査の結果は、遺跡詳細分布調査カードに記載し、当教育委員会で保管している。



第1図 分布調査対象範囲図



## 第Ⅱ章 調査結果

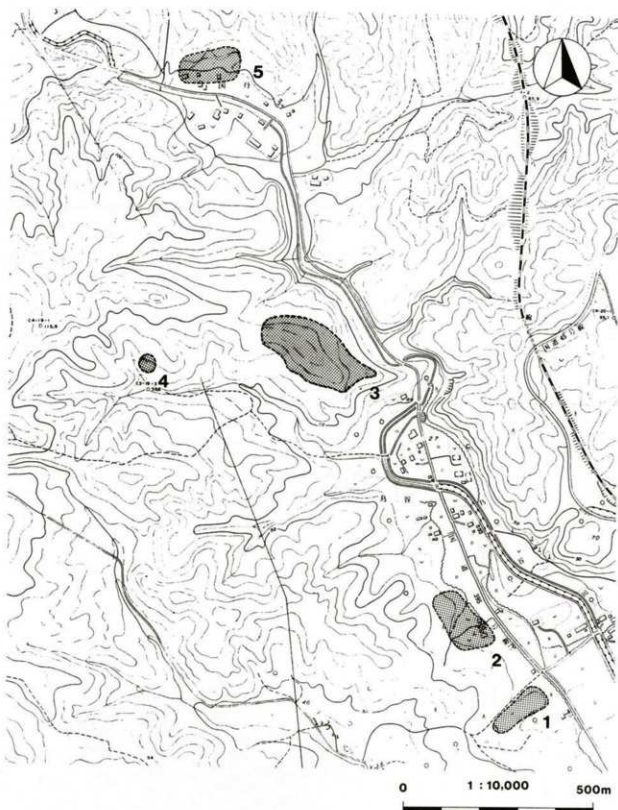
### 1 宇津目・鳥谷・国丹地区（第2～4図、第1～4図版）

宇津目Ⅰ遺跡は、標高約30～40mの南西から北東に延びる丘陵上に立地する。丘陵南東側には沢が流れている。現状は畑地及び山林である。縄文時代後期の土器、土師器等が採集された。宇津目Ⅱ遺跡は、標高約30mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。遺跡中央には南西から北東に向かって沢が流れている。現状は畑地及び荒地である。縄文土器の細片が採集された。

鳥谷館跡は、鳥谷川右岸の標高約40～95mの丘陵に立地する。現状は山林である。丘陵の南側に幅約2m、長さ約30～40mの空堀が残っている。館主は天正19年の九戸政実の乱で南部方として出陣した鳥谷大炊と推定されている。

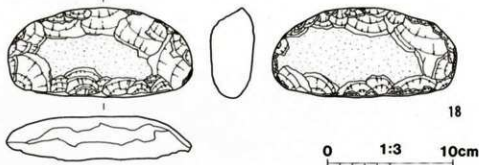
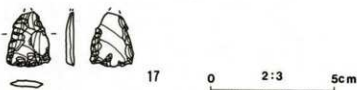
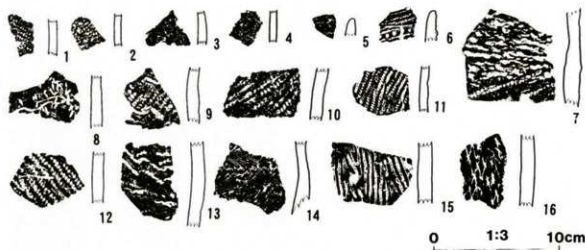
鳥谷窯跡は、鳥谷館跡の西方約40m、鳥谷館跡が立地する丘陵の付け根の南側裾部に位置する。現状は山林で、2基の窯跡が凹地となって残存している。北から南に下る傾斜面に立地し、窯跡の西側から南側にかけては沢が流れている。窯跡の東側には人工的と思われる平坦面が認められる。窯跡の規模は、南側の窯跡が長さ約7m、幅約3m、北側の窯跡が長さ約6m幅約3.5mである。窯跡凹地からは多量の陶器片や窯道具が採集される（第3図版19～21、第4図版22～29）。

国丹遺跡は、標高約50～60mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び山林である。遺跡の西側には沢が南流し、鳥谷川に注いでいる。遺物の散布量は多く、縄文時代前期後半の遺物が主体で、土器、石鏃、磨石、フレークなどが採集された。



番号	遺跡名	領遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	宇津目Ⅰ遺跡	J G 10. 1077	散布地	縄文土器(後期)、土師器	夏井町字鳥谷第7地割	
2	宇津目Ⅱ遺跡	J G 10. 1056	散布地	縄文土器	夏井町字鳥谷第6地割	
3	鳥谷館跡	J G 10. 0092	城館跡	空堀	夏井町字鳥谷第3地割	
4	鳥谷家跡	J F 10. 0377	家跡	陶器	夏井町字鳥谷第3地割	
5	国丹遺跡	J F 10. 0319	散布地	縄文土器(前期)、石器	夏井町字鳥谷第4地割	新規

第2図 宇津目・鳥谷・国丹地区遺跡分布図

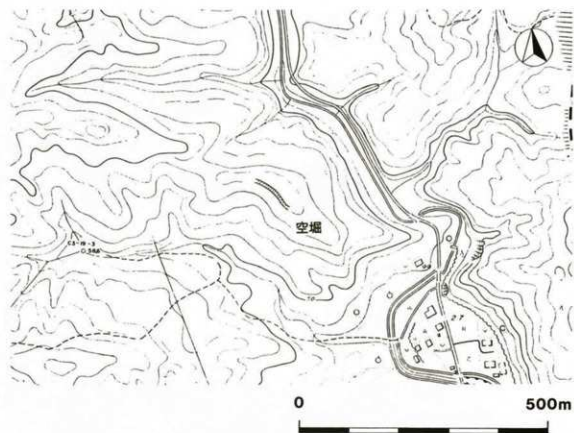


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	宇津目I遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文		第3図版1
2	宇津目I遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文		第3図版2
3	宇津目I遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文		第3図版3
4	宇津目I遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文		第3図版4
5	国丹遺跡	縄文土器深鉢	原体任意		第3図版5
6	国丹遺跡	縄文土器深鉢	原体任意、連続刺突	縞線合	第3図版6
7	国丹遺跡	縄文土器深鉢	綾結文、L,R単筋縄文	縞線合	第3図版7
8	国丹遺跡	縄文土器深鉢	綾結文	縞線合	第3図版8
9	国丹遺跡	縄文土器深鉢	綾結文、L,R単筋縄文	縞線合	第3図版9
10	国丹遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文	縞線合	第3図版10
11	国丹遺跡	縄文土器深鉢	L,R単筋縄文	縞線合	第3図版11
12	国丹遺跡	縄文土器深鉢	R,L単筋縄文	縞線合	第3図版12
13	国丹遺跡	縄文土器深鉢	綾結文	縞線合	第3図版13
14	国丹遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文	縞線合	第3図版14
15	国丹遺跡	縄文土器深鉢	木目状懸糸文	縞線合	第3図版15
16	国丹遺跡	縄文土器深鉢	網目状懸糸文	縞線合	第3図版16

計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	器種	計測値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
17	国丹遺跡	石磨	平基無蓋	( 2.2 )	1.8	0.3	( 1.4 )	硬質頁岩	第3図版17	
18	国丹遺跡	磨石		7.2	14.8	3.5	535.5	花崗岩	第3図版18	

第3図 宇津目・国谷地区採集遺物



第4図 鳥谷館跡平面略図



第1図版 鳥谷館跡航空写真



宇津目 I 遺跡



宇津目 II 遺跡



鳥谷館跡遠景



鳥谷館跡空堀跡



鳥谷館跡空堀跡

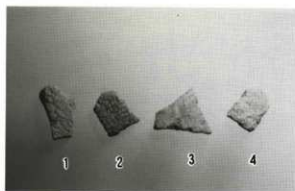


鳥谷窯跡

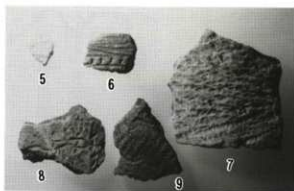


国丹遺跡

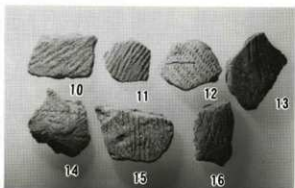
第 2 図版 宇津目・鳥谷・国丹地区遺跡



宇津目 I 遺跡採集遺物



国丹遺跡採集遺物



国丹遺跡採集遺物



国丹遺跡採集遺物



国丹遺跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物

第3図版 宇津目・鳥谷・国丹地区採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



鳥谷窯跡採集遺物



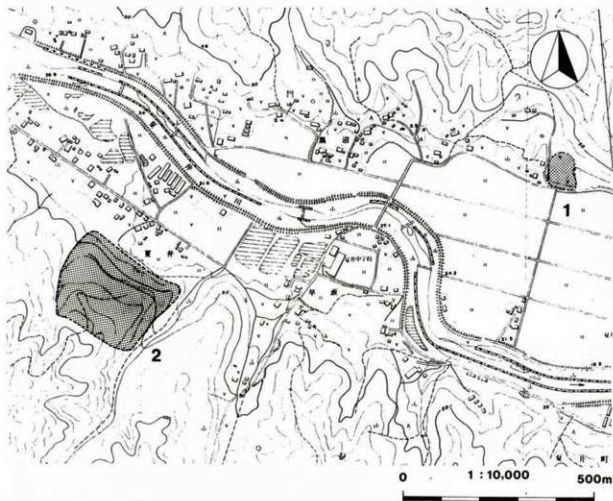
鳥谷窯跡採集遺物

第4図版 鳥谷地区採集遺物

## 2 黒沼・早坂地区 (第5・6図、第5・6図版)

大久保館跡は、夏井川左岸の北から南に張り出す標高約30mの低位段丘面に立地する。南北約100m、東西約50mで規模は小さい。現状は山林及び荒地である。現状は平坦な面が認められる他は館に伴う遺構は特に認められない。平坦面には墓碑が数現存している。大久保某氏の居館と伝えられるが、築城年代等は不明である。

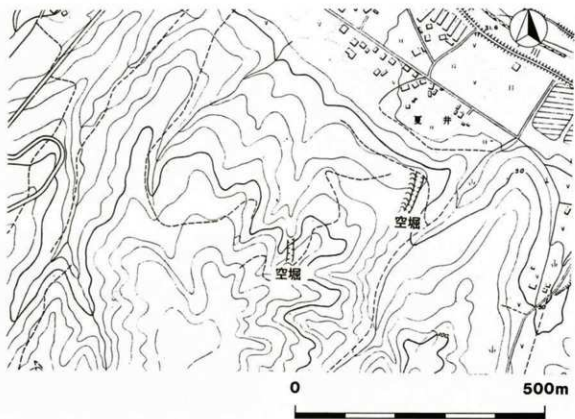
館の平館跡は、夏井川右岸、標高約40～90mの南西から北東に延びる丘陵に立地する。現状は山林である。遺構としては館跡東端部に長さ約50m、幅約2m、深さ約1mの空堀、西端頂上付近に長さ約50m、幅約3m、深さ約1mの空堀が残存する。館跡のほぼ中央部には屋敷跡と伝えられる10m四方程度の平坦部が3箇所とまって残存している。また、館跡北側斜面には湧水が認められる。館主、築城年代等は不明である。



番号	遺跡名	順遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	大久保館跡	J G 10. 2040	館跡跡	平場	夏井町字早坂第5地割	
2	館の平館跡	J F 19. 2278	城館跡	空堀	夏井町字早坂第1地割	

第5図 黒沼・早坂地区遺跡分布図





第6図 館の平館跡平面略図



第5図版 館の平館跡航空写真



大久保館跡遠景



大久保館跡近景



大久保館跡平場



大久保館跡平場



館の平館跡



館の平館跡空堀跡

第6図版 黒沼・早坂地区遺跡

### 3 夏井・蕪田地区 (第7～9図、第7・8図版)

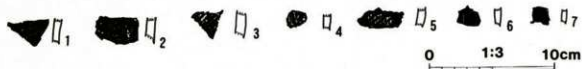
夏井小学校裏遺跡は、標高約40～60mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は山林である。遺物の採集は不可能であった。縄文時代の遺物散布地である。

夏井城跡は、夏井川右岸、標高約50mの西から東に延びる丘陵上に立地する。城跡南側には西から東に女沢川が流れ、夏井川と合流する。現状は大宮神社境内及び山林である。城跡西端に長さ約10m、幅約3mにわたり約5mの段差が認められ、これが空堀跡とされている。城主は南部信直、利直に仕えた夏井勘解由と伝えられている。

また、城跡である神社境内において土師器が採集された。

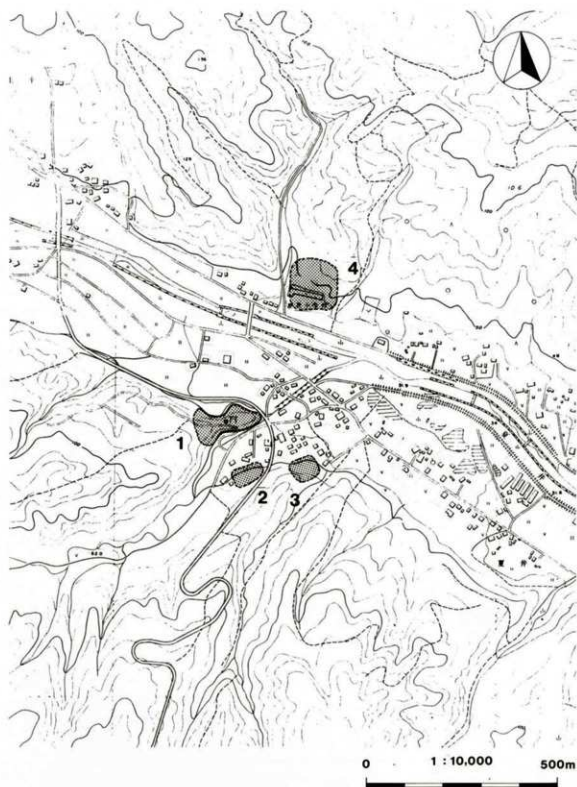
夏井Ⅰ遺跡は、標高約50mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期の土器が採集された。

夏井Ⅱ遺跡は、標高約50～60mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期の土器及び土師器が採集された。



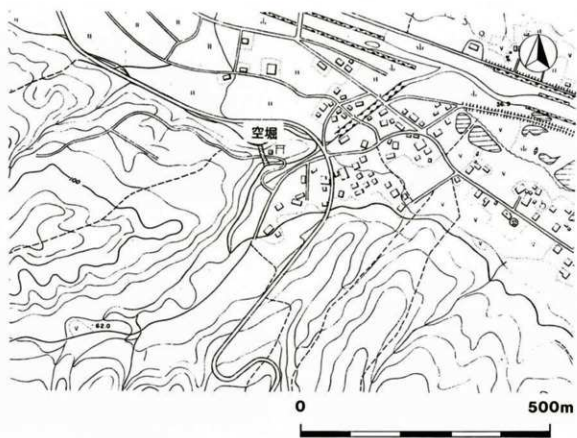
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	夏井城跡	土師器破	外面ヘラナデ、内面ナデ		第4図版1
2	夏井Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第4図版2
3	夏井Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第4図版3
4	夏井Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第4図版4
5	夏井Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第4図版5
6	夏井Ⅱ遺跡	土師器壺	外面ヘラナデ、内面割落のため不明		第4図版6
7	夏井Ⅱ遺跡	土師器壺	外面ナデ、内面ナデ		第4図版7

第7図 夏井地区採集遺物



番号	遺跡名	前遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
3	夏井城跡	J F 10. 1184	城跡跡	空堀、土師器	夏井町字夏井第2地割	
4	夏井1遺跡	J F 19. 2242	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第1地割	新規
5	夏井II遺跡	J F 19. 2234	散布地	縄文土器(後期)、土師器	夏井町字夏井第1地割	新規
6	夏井小学校裏遺跡	J F 19. 1285	散布地	縄文土器?	夏井町字夏井第3地割	

第8図 夏井・蕪田地区遺跡分布図



第9図 夏井城跡平面略図



第7図版 夏井城跡航空写真



夏井城跡遠景



夏井城跡空堀



夏井Ⅰ遺跡



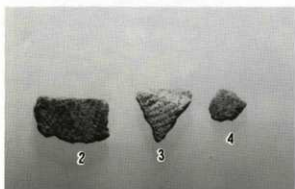
夏井Ⅱ遺跡



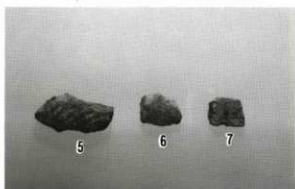
夏井小学校裏遺跡



夏井城跡採集遺物



夏井Ⅰ遺跡採集遺物



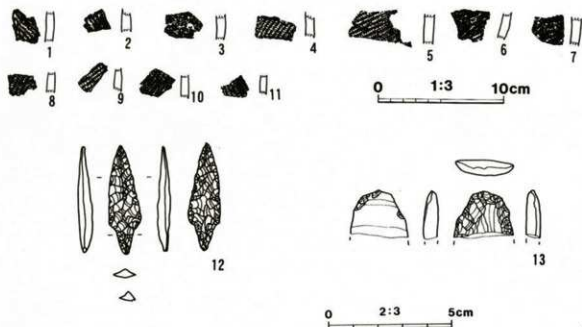
夏井Ⅱ遺跡採集遺物

第8図版 夏井・燕田地区遺跡、採集遺物

#### 4 葡萄峰町・小田地区（第10・11図、第9図版）

葡萄峰遺跡は、標高約45～50mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器、石鏃、スクレイパー等が採集された。

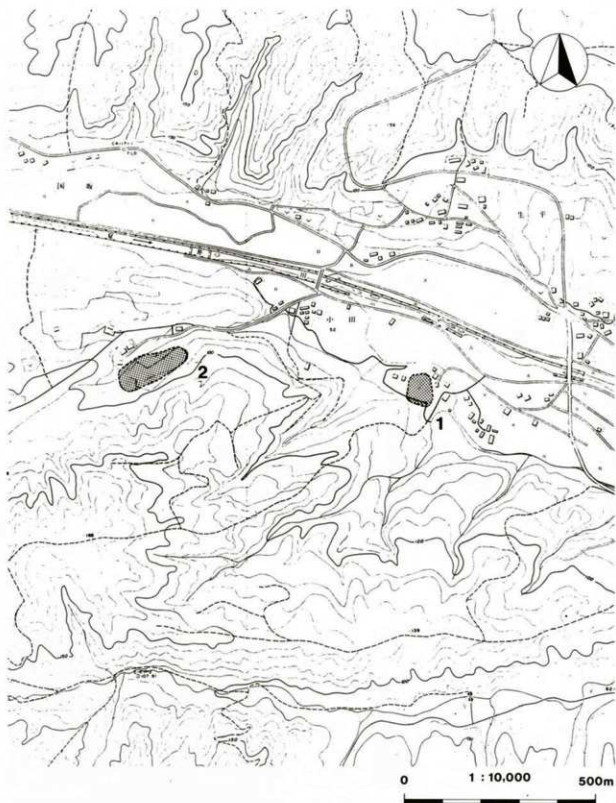
小田遺跡は、標高約85mのほぼ平坦面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	葡萄峰遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版1
2	葡萄峰遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版2
3	葡萄峰遺跡	縄文土器深鉢	縄文・磨滅面書		第9図版3
4	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版4
5	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版5
6	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版6
7	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版7
8	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版8
9	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版9
10	小田遺跡	縄文土器深鉢	L R単筋縄文		第9図版10
11	小田遺跡	縄文土器深鉢	R L単筋縄文		第9図版11

番号	遺跡名	器種	器種	測定値 (単位 cm)			重量 (単位 g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
12	葡萄峰遺跡	石鏃	凸基無茎	4.3	1.3	0.6	2.0	硬質頁岩	第9図版12	
13	葡萄峰遺跡	スクレイパー		( 1.9 )	( 2.3 )	( 0.6 )	( 2.7 )	硬質頁岩	第9図版13	

第10図 葡萄峰・小田地区採集遺物



番号	遺跡名	旧遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	葡萄峰遺跡	J F 19. 1184	散布地	縄文土器(後期)、石鏝、スクレイパー	夏井町字夏井第6地割	新規
2	小田遺跡	J F 19. 1076	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第6地割	新規

第11図 葡萄峰・小田地区遺跡分布図

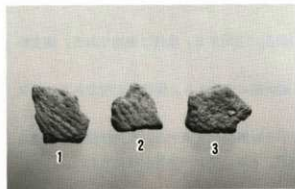




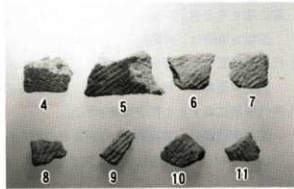
葡萄峰遺跡



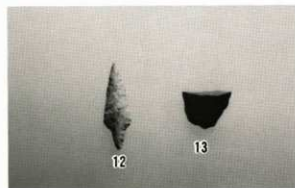
小田遺跡



葡萄峰遺跡採集遺物



小田遺跡採集遺物



葡萄峰遺跡採集遺物

第9図版 葡萄峰・小田地区遺跡、採集遺物

## 5 国坂・切屋田地区（第12～18図、第10～12図版）

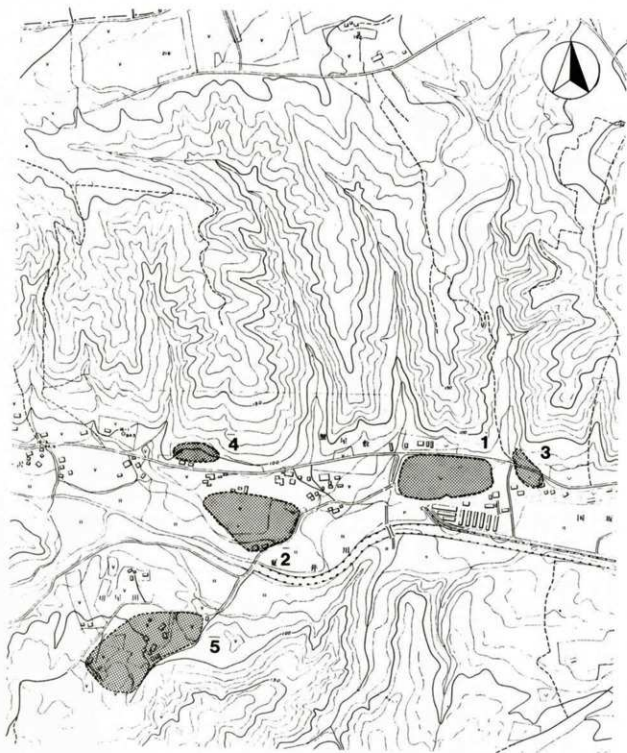
国坂Ⅰ遺跡は、標高約70mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。遺物の散布密度は非常に濃く、縄文時代中期・後期に属する遺物が散布しているが、中期の遺物が主体を占める。土器、石鎌、石匙、石斧、凹石、フレイク等が採集されたが、フレイクの量は多量である。遺物の散布範囲も広いことから、集落跡が存在するものと推定される。また、縄文時代中期の大木系土器と円筒上層系土器とが混在しており、注目される遺跡である。

国坂Ⅱ遺跡は、標高約90mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

国坂Ⅲ遺跡は、標高約70～80mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

国坂Ⅳ遺跡は、標高約100mのほぼ北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

切屋田遺跡は、標高約90～110mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地、宅地及び山林である。縄文時代晩期に属する土器、石鎌、石匙、石錐、フレイク等が採集された。



0 1 : 10,000 500m

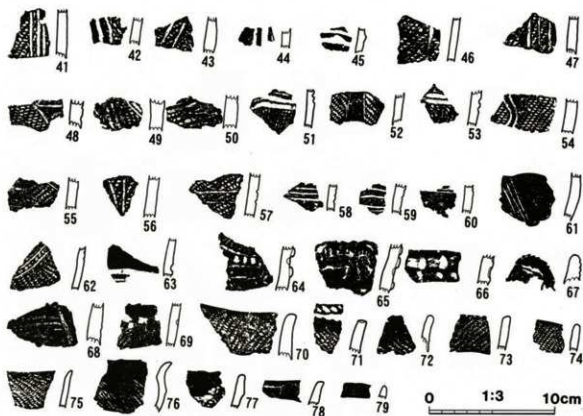
番号	遺跡名	県道線コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	国坂Ⅰ遺跡	J F 18. 1022	集落跡	縄文土器(中・後期)、多量の石器	夏井町字夏井第9地割	
2	国坂Ⅱ遺跡	J F 18. 1337	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第10地割	
3	国坂Ⅲ遺跡	J F 18. 1024	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第8地割	
4	国坂Ⅳ遺跡	J F 18. 1314	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第13地割	新規
5	切屋田遺跡	J F 18. 1363	集落跡	縄文土器(後・晩期)、石器、石匙	夏井町字夏井第11地割	

第12図 国坂・切屋田地区遺跡分布図



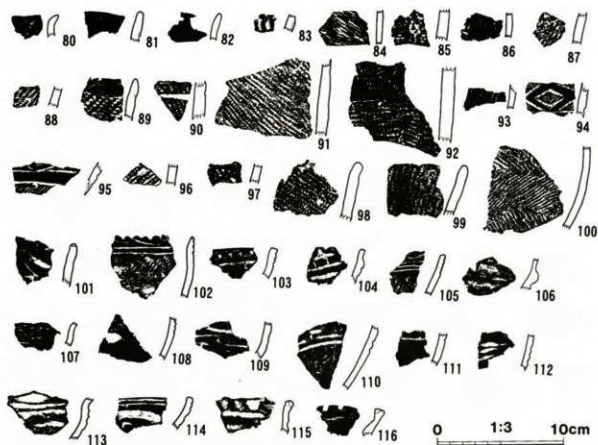
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線	把手部、アブリッジ状	第1100版1
2	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版2
3	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版3
4	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版4
5	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	斜線		第1100版5
6	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版6
7	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.早期縄文		第1100版7
8	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文		第1100版8
9	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第1100版9
10	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版10
11	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版11
12	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線		第1100版12
13	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線		第1100版13
14	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文		第1100版14
15	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線		第1100版15
16	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文	折り返し口縁	第1100版16
17	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、R.L.早期縄文	折り返し口縁	第1100版17
18	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	L.R.早期縄文		第1100版18
19	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	刻目、沈線		第1100版19
20	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	刻目、沈線		第1100版20
21	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.?早期縄文		第1100版21
22	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、R.L.早期縄文		第1100版22
23	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線		第1100版23
24	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.?早期縄文		第1100版24
25	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文		第1100版25
26	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.早期縄文		第1100版26
27	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.L.早期縄文		第1100版27
28	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.L.早期縄文		第1100版28
29	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.L.早期縄文		第1100版29
30	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.L.早期縄文		第1100版30
31	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.L.早期縄文		第1100版31
32	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.早期縄文		第1100版32
33	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.R.早期縄文		第1100版33
34	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.R.早期縄文		第1100版34
35	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、R.L.R.早期縄文		第1100版35
36	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、R.L.?早期縄文		第1100版36
37	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文		第1100版37
38	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.L.早期縄文		第1100版38
39	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L.R.早期縄文		第1100版39
40	国坂I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、斜線、L.R.早期縄文		第1100版40

第13図 国坂・切屋田地区採集遺物(1)



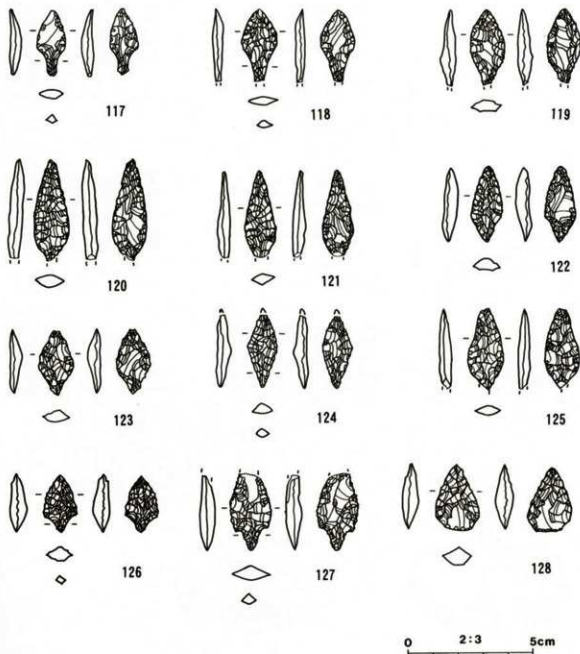
番号	遺跡名	器種	文	器	備考	写真図版
41	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版41
42	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、縄文			第11図版42
43	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版43
44	国坂I遺跡	縄文土器片断	雜帶			第11図版44
45	国坂I遺跡	縄文土器片断	雜帶			第11図版45
46	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、雜帶、R.L.卑部縄文		縄文地文陶文→雜帶粘帶→沈線	第11図版46
47	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、R.L.卑部縄文			第11図版47
48	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版48
49	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版49
50	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版50
51	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、R.L.卑部縄文			第11図版51
52	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版52
53	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版53
54	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、R.L.卑部縄文			第11図版54
55	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版55
56	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版56
57	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版57
58	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、R.L.卑部縄文			第11図版58
59	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版59
60	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版60
61	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版61
62	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線			第11図版62
63	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、R.L.卑部縄文			第11図版63
64	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、雜帶、L.R.卑部縄文			第11図版64
65	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、雜帶、L.R.卑部縄文			第11図版65
66	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版66
67	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版67
68	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版68
69	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版69
70	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版70
71	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版71
72	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版72
73	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版73
74	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版74
75	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版75
76	国坂I遺跡	縄文土器片断	沈線、L.R.卑部縄文			第11図版76
77	国坂I遺跡	縄文土器片断	雜帶、R.L.卑部縄文			第11図版77
78	国坂I遺跡	縄文土器片断			折り返し口縁	第11図版78
79	国坂I遺跡	縄文土器片断			折り返し口縁	第11図版79

第14図 国坂・切屋田地区採集遺物(2)



番号	遺跡名	器種	文	種	層	写真図版
80	国板I遺跡	縄文土器片	無文			第1100版80
81	国板I遺跡	縄文土器片	無文			第1100版81
82	国板I遺跡	縄文土器片	無文			第1100版82
83	国板I遺跡	縄文土器片	連続刺突			第1100版83
84	国板I遺跡	縄文土器片	L. 煎餅			第1100版84
85	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文、R.L. 煎餅縄文			第1100版85
86	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版86
87	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版87
88	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版88
89	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版89
90	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版90
91	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版91
92	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版92
93	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版93
94	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版94
95	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版95
96	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版96
97	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版97
98	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版98
99	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版99
100	国板I遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版100
101	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版101
102	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版102
103	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版103
104	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版104
105	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版105
106	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版106
107	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版107
108	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版108
109	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版109
110	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版110
111	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版111
112	国板II遺跡	縄文土器片	縁部文			第1100版112
113	切屋田遺跡	縄文土器片	縁部文			第1200版1
114	切屋田遺跡	縄文土器片	縁部文			第1200版2
115	切屋田遺跡	縄文土器片	縁部文			第1200版3
116	切屋田遺跡	縄文土器片	縁部文			第1200版4

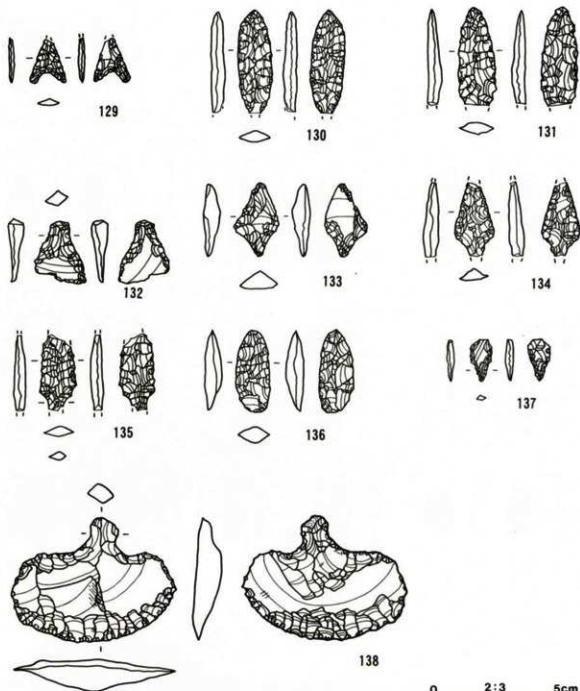
第15図 国板・切屋田地区採集遺跡(3)



計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器	器種	計測値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
117	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	2.6	1.1	0.5	0.8	硬質頁岩	第128図版10	
118	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 2.9)	1.4	0.4	( 1.4)	硬質頁岩	第128図版11	
119	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 3.0)	1.4	0.6	( 2.2)	硬質頁岩	第128図版12	
120	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 3.9)	1.4	0.6	( 3.1)	硬質頁岩	第128図版13	
121	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 4.0)	1.3	0.5	( 1.9)	硬質頁岩	第128図版14	
122	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	3.0	1.3	0.6	1.2	硬質頁岩	第128図版15	
123	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	2.6	1.4	0.5	1.6	鉄石英	第128図版16	
124	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 2.9)	1.2	0.6	( 1.1)	凝灰岩	第128図版17	
125	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	( 3.2)	1.4	0.5	( 1.8)	硬質頁岩	第128図版18	
126	国坂I遺跡	石鏢	凸基無茎	2.3	1.4	0.7	1.8	鉄石英	第128図版19	
127	国坂I遺跡	石鏢	平基有茎	( 3.1)	1.7	0.6	( 2.3)	硬質頁岩	第128図版20	
128	国坂I遺跡	石鏢	円基	2.6	1.8	0.7	2.9	硬質頁岩	第128図版21	

第16図 国坂・切屋田地区採集遺物(4)

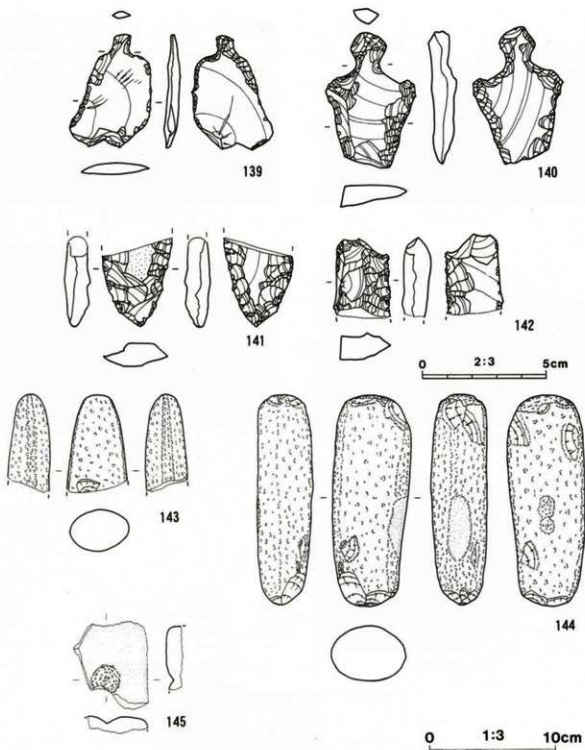


計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	器種	測量値 (単位:cm)			重量 (単位:g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
129	国坂I遺跡	石鏃	凹基無茎	( 1.8 )	1.5	0.3	( 0.4 )	硬質頁岩	第128図版22	
130	国坂I遺跡	石鏃		( 4.1 )	1.4	0.6	( 3.4 )	硬質頁岩	第128図版23	
131	国坂I遺跡	石鏃		( 3.9 )	1.5	0.6	( 2.9 )	硬質頁岩	第128図版24	
132	国坂I遺跡	石鏃	瓣形	2.5	2.1	0.7	1.9	硬質頁岩	第128図版25	
133	切屋田遺跡	石鏃	凸基有茎	2.9	1.3	0.7	2.4	硬質頁岩	第128図版47	
134	切屋田遺跡	石鏃	凸基有茎	( 3.0 )	1.6	0.6	( 2.3 )	硬質頁岩	第128図版48	
135	切屋田遺跡	石鏃	凸基有茎	( 3.0 )	1.5	0.5	( 2.0 )	硬質頁岩	第128図版49	
136	切屋田遺跡	石鏃	円基	3.3	1.4	0.7	3.1	硬質頁岩	第128図版50	
137	切屋田遺跡	石鏃		1.7	0.9	0.3	0.4	硬質頁岩	第128図版51	
138	切屋田遺跡	石鏃	瓣形	5.0	6.6	1.2	25.8	硬質頁岩	第128図版52	

第17図 国坂・切屋田地区採集遺物(5)





計測値、重量の欄の（ ）内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	器種	測量値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
139	切屋田遺跡	石匙	楕形	4.5	3.2	0.6	7.3	粘板岩	第12図版54	
140	切屋田遺跡	石匙	楕形	5.4	3.6	1.1	13.3	硬質頁岩	第12図版53	
141	切屋田遺跡	スクレイパー		( 3.5)	2.8	1.0	( 8.9)	硬質頁岩	第12図版55	
142	切屋田遺跡	スクレイパー		( 3.2)	2.2	1.2	( 10.0)	硬質頁岩	第12図版56	
143	国坂1遺跡	打製石斧		( 7.9)	4.9	3.4	( 177.2)	砂岩	第12図版26	
144	国坂1遺跡	鎌形		16.9	6.2	4.4	789.9	砂岩	第12図版27	
145	国坂1遺跡	凹石		( 7.1)	( 5.9)	( 1.3)	( 61.3)	粗粒砂岩	-	

第18図 国坂・切屋田地区採集遺物(6)



国坂Ⅰ遺跡



国坂Ⅱ遺跡



国坂Ⅲ遺跡

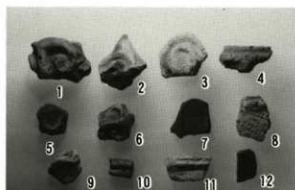


国坂Ⅳ遺跡



切屋田遺跡

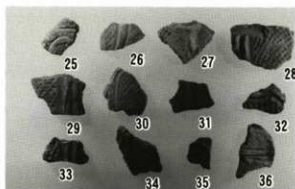
第10図版 国坂・切屋田地区遺跡



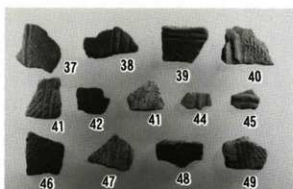
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



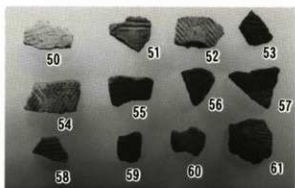
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



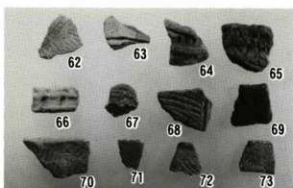
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



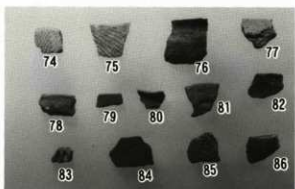
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



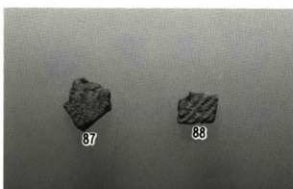
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



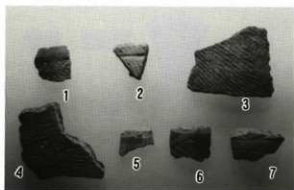
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



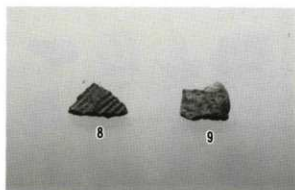
国坂 I 遺跡遺跡採集遺物



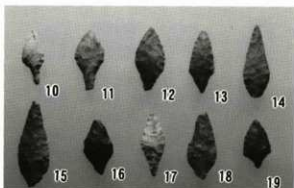
国坂 II 遺跡遺跡採集遺物



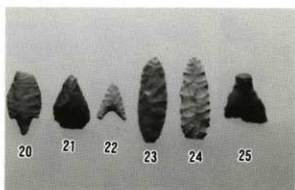
国坂Ⅲ遺跡遺跡採集遺物



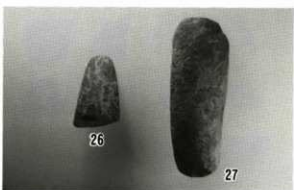
国坂Ⅳ遺跡遺跡採集遺物



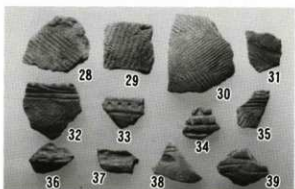
国坂Ⅰ遺跡遺跡採集遺物



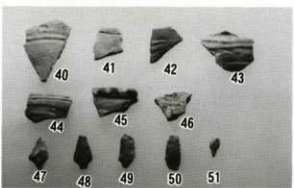
国坂Ⅰ遺跡遺跡採集遺物



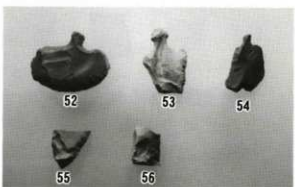
国坂Ⅰ遺跡遺跡採集遺物



切屋田遺跡採集遺物



切屋田遺跡採集遺物



切屋田遺跡採集遺物

第12図版 国坂・切屋田地区遺物(2)

## 6 門ノ沢・大芦・富原地区（第19～22図、第13～15図版）

門ノ沢遺跡は、標高約90～110mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。今回の調査では遺物の採集はできなかったが、縄文時代の遺物散布地である。

大芦Ⅰ遺跡は、標高約150～190mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林・水田等である。大芦Ⅰ遺跡は昭和59年に緊急発掘調査が市教育委員会により実施され、縄文時代後期から晩期にかけての遺物包含層が確認されている。出土遺物は縄文時代後期から晩期にかけての土器（第22図）、石鎌・石錐・石匙・削器・打製石斧・敲石・凹石・磨石等の石器、土偶・円環状土製品等の土製品、石刀・石棒・岩版等の石製品等がみられる。また、元川代小学校所蔵の遺物で、大芦Ⅰ遺跡からの採集と推定される資料を、現在、市教育委員会で保管しているが、その中には、縄文時代晩期の土器資料（第15図版55～66）とともに骨筥2点（第15図版39・40）、貝殻（第14図版37・38）、獣骨・鳥骨・鹿角（第15図版41～54）が含まれており、自然遺物を包含する層が存在する可能性がある。

大芦Ⅱ遺跡は、標高約140～150mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

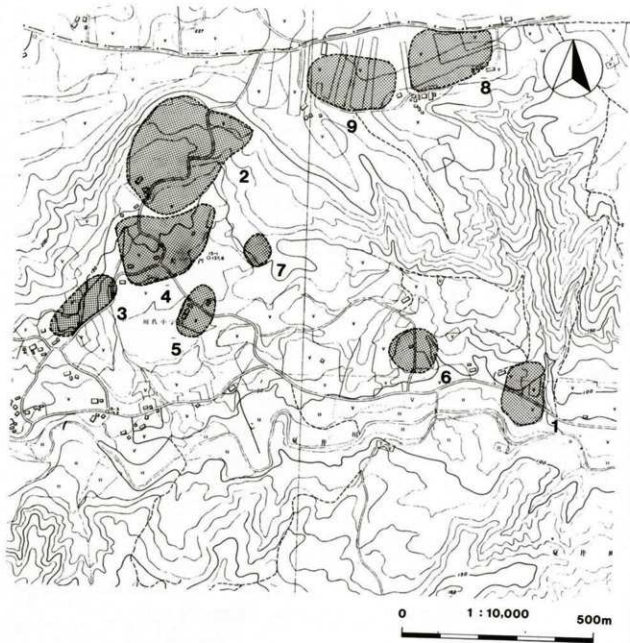
大芦Ⅲ遺跡は、大芦Ⅰ遺跡の南側、標高約140～150mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

大芦Ⅳ遺跡は、標高約140mのほぼ平坦面に立地する。現状は畑地・宅地等である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

大芦Ⅴ遺跡は、標高約110～120mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。今回の調査は遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺物散布地である。

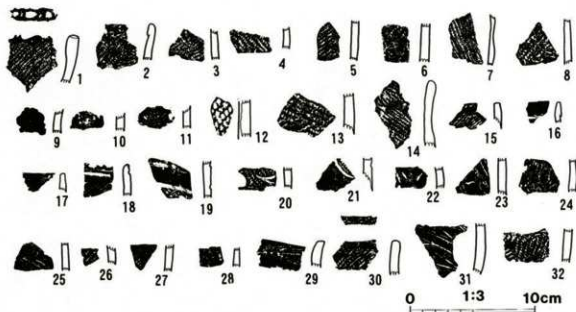
富原Ⅰ遺跡は、標高約220～230mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び牧草地である。今回の調査は遺物は採集されなかったが、縄文時代後期から晩期にかけての集落跡である。

富原Ⅱ遺跡は、標高約220～230mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び牧草地である。今回の調査は遺物は採集されなかったが、縄文時代の集落跡である。



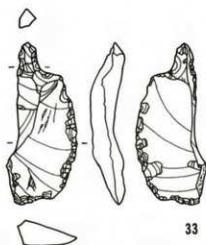
番号	遺跡名	原遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	門ノ沢遺跡	J F 18. 1204	散布地	縄文土器	夏井町字夏井第15地割	
2	大芦I遺跡	J F 18. 0137	集落地	縄文土器(後・晩期)、石器	夏井町字夏井第21地割	
3	大芦II遺跡	J F 18. 0165	集落地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第22番地	
4	大芦III遺跡	J F 18. 0166	集落地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第21番地	
5	大芦IV遺跡	J F 18. 0187	集落地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第21番地	
6	大芦V遺跡	J F 18. 0201	散布地	縄文土器	夏井町字夏井第20番地	
7	大芦VI遺跡	J F 18. 0167	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第21番地	新視
8	富原I遺跡	J F 18. 0221	集落地	縄文土器(後・晩期)	夏井町字夏井第21番地	
9	富原II遺跡	J F 18. 0215	集落地	縄文土器	夏井町字夏井第21番地	

第19図 門ノ沢・大芦・富原地区遺跡分布図



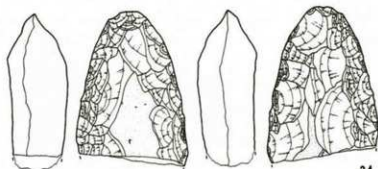
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	口唇上指張押圧、L R 単筋縄文		第1459版 1
2	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 2
3	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 3
4	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L 単筋縄文		第1459版 4
5	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 5
6	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 6
7	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 7
8	大声Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 8
9	大声Ⅰ遺跡	縄文土器壺	無文		第1459版 9
10	大声Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第1459版 10
11	大声Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	R L 単筋縄文	織縷合	第1459版 11
12	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	L R L 複筋縄文	織縷合	第1459版 12
13	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文		第1459版 13
14	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	R L 単筋縄文		第1459版 14
15	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	口唇上回転縄文、L R 単筋縄文		第1459版 15
16	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	無文	折り返し口縁	第1459版 16
17	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第1459版 17
18	大声Ⅲ遺跡	縄文土器鉢	口唇上刻目、沈線、L R 単筋縄文		第1459版 18
19	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L R 単筋縄文		第1459版 19
20	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L 単筋縄文		第1459版 20
21	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L 単筋縄文	折り返し口縁	第1459版 21
22	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	徳永文		第1459版 22
23	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	網目状? 徳永文		第1459版 23
24	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	磨滅顯著		第1459版 24
25	大声Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	磨滅顯著		第1459版 25
26	大声Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 26
27	大声Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 27
28	大声Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	磨滅顯著		第1459版 28
29	大声Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第1459版 29
30	大声Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文、口唇上縄文		第1459版 30
31	大声Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	条痕		第1459版 31
32	大声Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R 単筋縄文		第1459版 32

第20図 大声地区採集遺物(1)

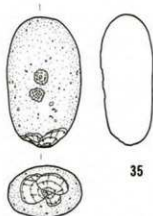


33

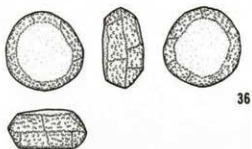
0 2:3 5cm



34



35



36

0 1:3 10cm

計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	器種	測量値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
33	大芦I遺跡	石匙	竊型	6.5	2.8	1.4	15.8	硬質頁岩	第140図版33	
34	大芦I遺跡	打製石斧		(12.5)	(8.9)	(4.8)	(668.2)	花崗岩	第140図版34	
35	大芦I遺跡	敲石		10.5	5.9	4.2	405.9	花崗岩	第140図版35	
36	大芦II遺跡	敲石	そろばん玉状	6.4	6.2	3.3	235.3	閃緑岩	第140図版36	10a-10b

第21図 大芦地区採集遺物(2)





第22図 大芦遺跡出土遺物  
 (久慈市教育委員会 1985『大芦遺跡発掘調査報告書』から転載)



門ノ沢遺跡



大芦 I 遺跡



大芦 II 遺跡



大芦 III 遺跡



大芦 IV 遺跡



大芦 V 遺跡



大芦 VI 遺跡

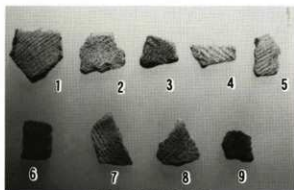


富原 I 遺跡

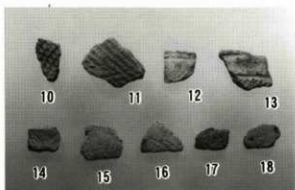
第13回版 門ノ沢・大芦・富原地区遺跡



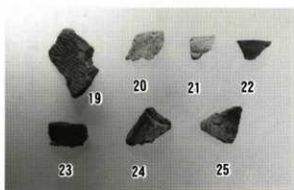
富原 II 遺跡



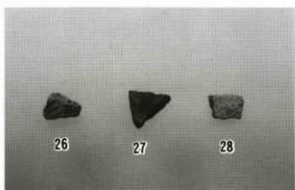
大芦 I 遺跡採集遺物



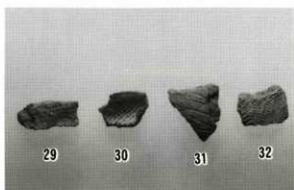
大芦 II・III 遺跡採集遺物



大芦 III 遺跡採集遺物



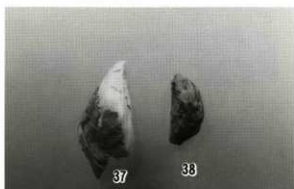
大芦 IV 遺跡採集遺物



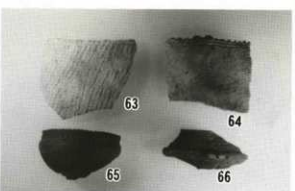
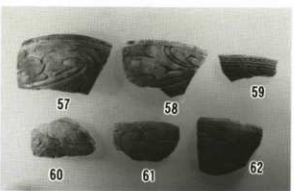
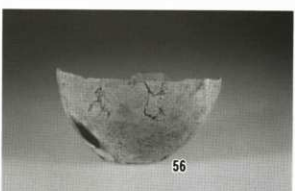
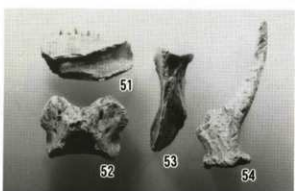
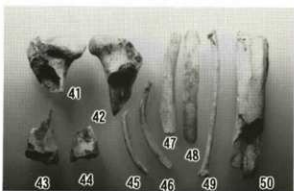
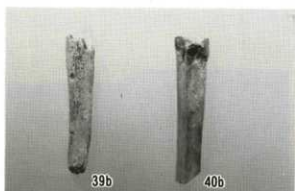
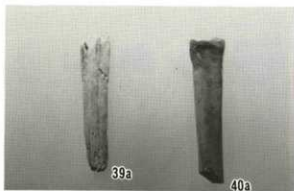
大芦 VI 遺跡採集遺物



大芦 I・III 遺跡採集遺物



大芦地区採集遺物



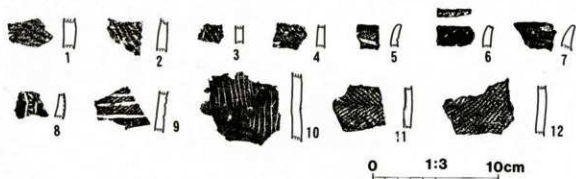
第15図版 大芦地区採集遺物

## 7 川代地区 (第23・24図、第16図版)

川代遺跡は、標高約110～130mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び宅地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

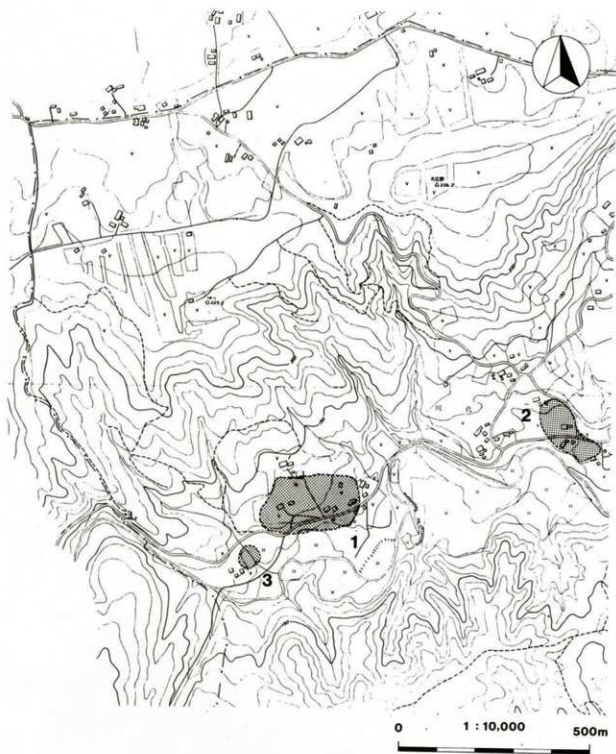
川代Ⅱ遺跡は、標高約115～130mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が採集された。

川代鉄山は、標高約130mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は宅地・山林・畑地及び水田である。一帯には多量の鉄滓(第16図版13～21)が堆積している。また、人工的と思われる凹地が2箇所に確認され、製鉄に関連する遺構と思われる。江戸時代操業の鉄山とされている。



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	川代Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単筋縄文		第16図版1
2	川代Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単筋縄文		第16図版2
3	川代Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L R単筋縄文		第16図版3
4	川代Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単筋縄文		第16図版4
5	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線、R L単筋縄文		第16図版5
6	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	口唇上縄文		第16図版6
7	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第16図版7
8	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線、連続刺突		第16図版8
9	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線、L R単筋縄文		第16図版9
10	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	懸糸文		第16図版10
11	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文		第16図版11
12	川代Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	L R単筋縄文		第16図版12

第23図 川代地区採集遺物



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	川代I遺跡	J F 18. 1027	集落地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第23地割	
2	川代II遺跡	J F 18. 1104	散布地	縄文土器(後期)	夏井町字夏井第22地割	
3	川代鉄山	J F 18. 1045	製鉄跡	鉄滓、凹地	夏井町字夏井第23地割	新規

第24図 川代地区遺跡分布図



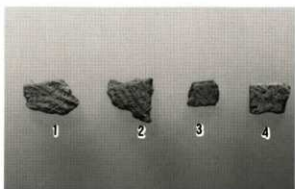
川代 I 遺跡



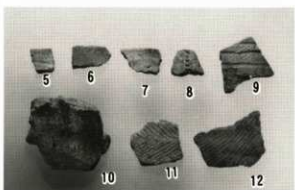
川代 II 遺跡



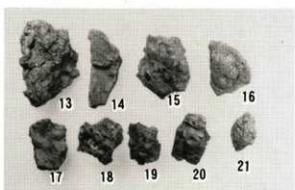
川代 鉄山跡



川代 I 遺跡採集遺物



川代 II 遺跡採集遺物



川代 鉄山跡採集鉄滓

第16図版 川代地区遺跡、採集遺跡

8 中崎地区 (第25・26図、第17図版)

中崎 I 遺跡は、標高約160mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び山林である。平成3年度に分布調査を実施しており、縄文時代の遺物が採集されている。

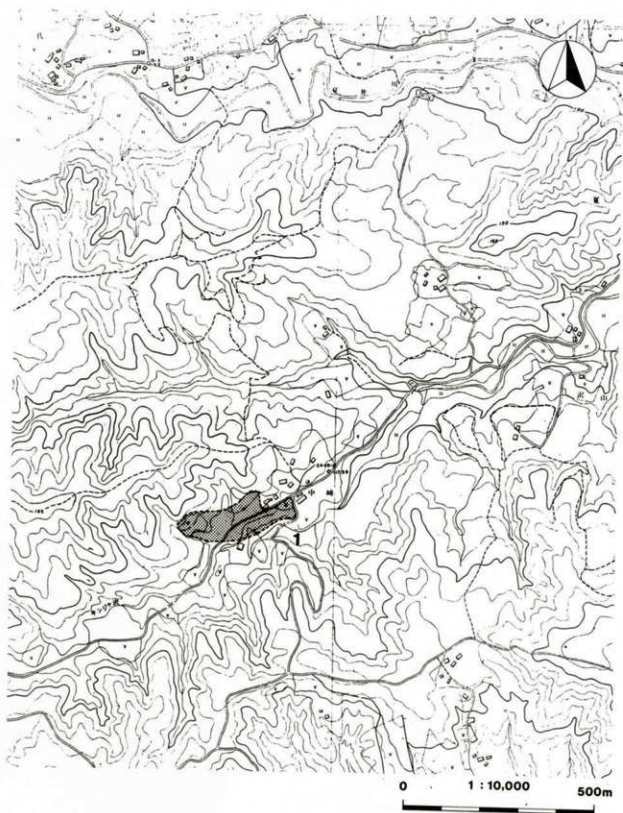
中崎 II 遺跡は、標高約110~130mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文時代後期に属する土器が表採された。



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	中崎 II 遺跡	縄文土器深鉢	L.R.単筋縄文		第17図版 1
2	中崎 II 遺跡	縄文土器深鉢	L.R.単筋縄文		第17図版 2
3	中崎 II 遺跡	縄文土器深鉢	無文		第17図版 3

第25図 中崎地区採集遺物



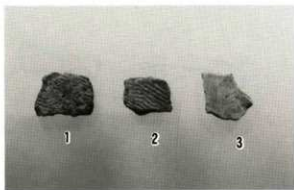


番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	中崎遺跡	J F 18. 2136	散布地	縄文土器 (後期)	夏井町字夏井第18地割	新規

第26図 中崎地区遺跡分布図



中崎Ⅱ遺跡



中崎Ⅱ遺跡採集遺物

第17図版 中崎地区遺跡、採集遺物

## 9 まとめ

今回の分布調査対象地において、埋蔵文化財包蔵地として遺跡台帳に登録されている遺跡数は22箇所であったが、分布調査の結果、新たに9箇所の遺跡が発見され、計31箇所となった。

平成元年度から市内遺跡詳細分布調査を実施し、平成7年度で市内全域の調査を終了した。調査を実施する前の遺跡数は204箇所であったが、調査の結果、新たに遺跡が発見されたことにより平成7年度末における遺跡数は401箇所となり、ほぼ倍増したことになる。

各年度別の分布調査成果は別表のとおりである。

分布調査は、踏査主体で行った。主に畑地や、道路・崖の法面など、土が表出している箇所において地表観察及び遺物の表面採集によって遺跡の確認を行った。第1章でも述べているように、市域の約88%が山林や原野で占められているため、遺跡の所在が確認できない箇所も多くあった。周知の遺跡においても、遺跡の時期を把握するため、現地踏査を実施し遺物採集を行ったが、現在は植林地あるいは荒地地となっていて、遺物の採集が不可能な箇所もあった。

また、縄文時代の洞穴遺跡や歴史的時代の遺跡が今後確認される可能性もあることから遺跡の数はさらに増加するものと予測される。

7年間にわたる分布調査によって、現時点における遺跡の分布状況が把握され、基礎資料としての遺跡台帳が整備されたことになる。この事業はこれで終わるものでなく、この成果の周知方法や生かし方が、今後の文化財保護行政において課題となるものである。

この7年間で、踏査可能な箇所はほとんど調査を実施した。その際に、地元の方々には、所有している遺物の写真撮影や、情報の提供、畑地への立ち入りに対する御理解など多大なる御協力を頂いた。記して感謝の意を表するものである。

別表 遺跡詳細分布調査成果表

年 度	対 象 地 区	周知遺跡数	新発見の遺跡数	計
平成元年度	侍浜町地区の一部 夏井町地区の一部 久慈地区の一部	43	23	66
平成2年度	長内町地区 小久慈町地区 久慈地区の一部	20	44	64
平成3年度	大川目町地区 久慈地区の一部	24	12	36
平成4年度	宇部町地区 長内町地区の一部	18	39	57
平成5年度	山根町地区 大川目町地区の一部	5	23	28
平成6年度	侍浜町地区	73	46	119
平成7年度	夏井町地区	22	9	31
合	計	205	196	401

## 引用・参考文献

- 久慈市教育委員会 1985 『大芦遺跡発掘調査報告書』久慈市埋蔵文化財報告書第5集
- 岩手県教育委員会 1986 『岩手県中世城館跡分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集
- 久慈市教育委員会 1990 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅰ』久慈市埋蔵文化財報告書第12集
- 久慈市教育委員会 1991 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅱ』久慈市埋蔵文化財報告書第13集
- 久慈市教育委員会 1992 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅲ』久慈市埋蔵文化財報告書第14集
- 久慈市教育委員会 1993 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅳ』久慈市埋蔵文化財報告書第15集
- 久慈市教育委員会 1994 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅴ』久慈市埋蔵文化財報告書第17集
- 久慈市教育委員会 1995 『久慈市内遺跡詳細分布掘調査報告書Ⅵ』久慈市埋蔵文化財報告書第19集

---

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第20集

久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅶ

平成8年3月29日

発行 久慈市教育委員会  
〒028 岩手県久慈市川崎町1番1号  
TEL 0194-52-2111

印刷 有限会社 マル二印刷  
TEL 0194-52-0011

---

